

石油暖房機ふく射ヒーター

(半密閉式石油ストーブ)

National

品番 OK-TR680C

ご販売店さま用

この工事説明書は、工事業者が正しく安全な工事をする為に必要な手引書です。設置工事の前に、この工事説明書をよくお読みください。なお、この工事説明書は取扱説明書と一緒に必ず保存してください。(設置工事後、お客様にお渡しください)

安全上のご注意(必ずお守りください)

●施工される人への危害・物的損害を未然に防止するため、お使いになる人への危害・物的損害を未然に防止するため、設置工事において必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。
注意	この表示の欄は、「危害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。	
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

警告

据付けや移動は販売店へ依頼すること

お客様ご自身で据付工事され、不備があると感電や火災の原因になります。

外れ危険・点検必要

煙突を確実に接続し、しっかり固定してください。風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事は指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守る

製品、油タンク、煙突の据付けは、規則を守らないと火災の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

ガソリン厳禁

ガソリン、混合油(農機用)など揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。灯油(JIS1号灯油)を使用してください。

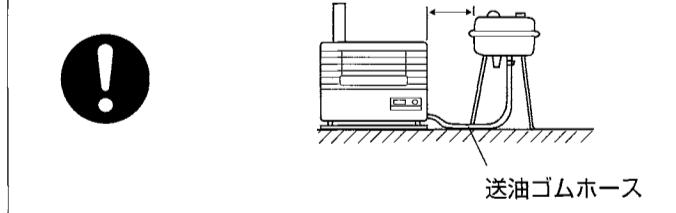
注意

次の場所には据付けけない

火災や予想しない事故の原因になります。

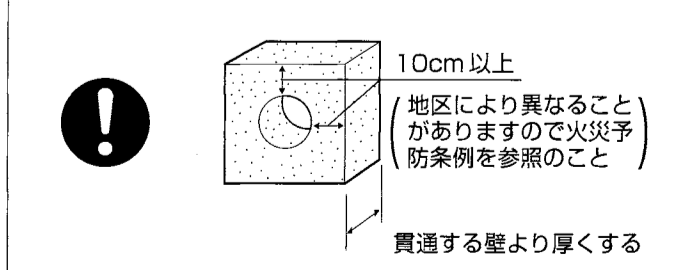
- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物を乗せた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所又はたまる場所
- 付近に燃えやすいものがある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 温室、飼育室などの人のいない場所

油タンクとの距離を離す



- 油タンクは機器より2m以上離して据付けるか、防火壁を設けてください。
- 屋内用据置式の油タンクは不燃材の床に据え付けること。
- 屋内タンクをご使用の場合、油タンクとストーブとの距離を2m以上取るため別売の送油ホース(OK-B07K 長さ2.5m)をご使用ください。

煙突が可燃性の壁を貫通する部分は、必ずめがね石を使用する



手袋などの保護具を着用して工事を行う

金属切断面などがけをするおそれがあります。

変則工事は絶対にしない

- 変則工事の例**
- めがね石を入れても可燃性建材がめがね石をおおう
 - めがね石を使用しない
 - うすい断熱材で可燃物を貫通
 - 煙突を床下または床下にはわせる
 - 煙突を突き出したまま下に
 - 煙突を突き出したままに
 - 横引きを下り勾配にする
 - 直角曲がり部分でさし込みすぎる
 - 煙突なしで使用

このような変則工事をする、排ガスが室内に出て、一酸化炭素などが発生し、中毒になるおそれがあります。

屋内給排気禁止



排気部材はJIS適合品(呼び径106mm)のものを使う(新しいものを使ってください)

異常燃焼や排ガス漏れの原因になります。

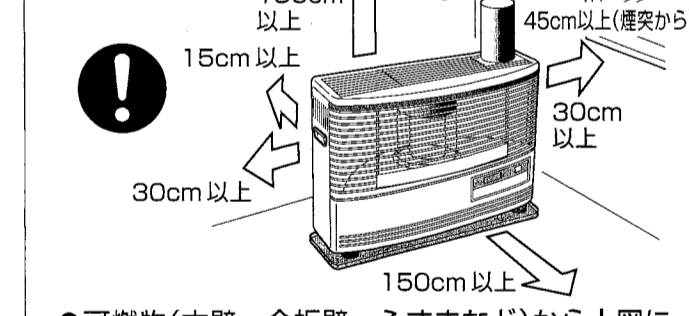
この工事説明書、別売部材の説明書に従って工事をする

守らなかった場合、予想しない事故が発生するおそれがあります。

電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない

傷んだり、引っこたたり、加工したり、排気管などの高温部に触れたり束ねたりしない。傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。

可燃物との距離を離す



- 可燃物(木壁、合板壁、ふすまなど)から上図に示す距離をとってください。
- 付属の置台を据付面においてご使用ください。
- ストーブ右側面と壁面は、保守点検のため30cm以上離してください。
- 煙突と可燃物との距離(45cm以上)でも規制されます。
- ストーブ側面と可燃物は30cm以上離してください。ただし、遮熱板(※)据付け方法3.遮熱板の取り付け)を取り付けると、15cmまで近づけることができます。
- 特にカーテンなどがストーブ、煙突にふれないようにしてください。

送油ホースは屋外で絶対に使用しない(極端に曲げた状態での使用もしない)ヒビ割れにより油漏れの原因になります。

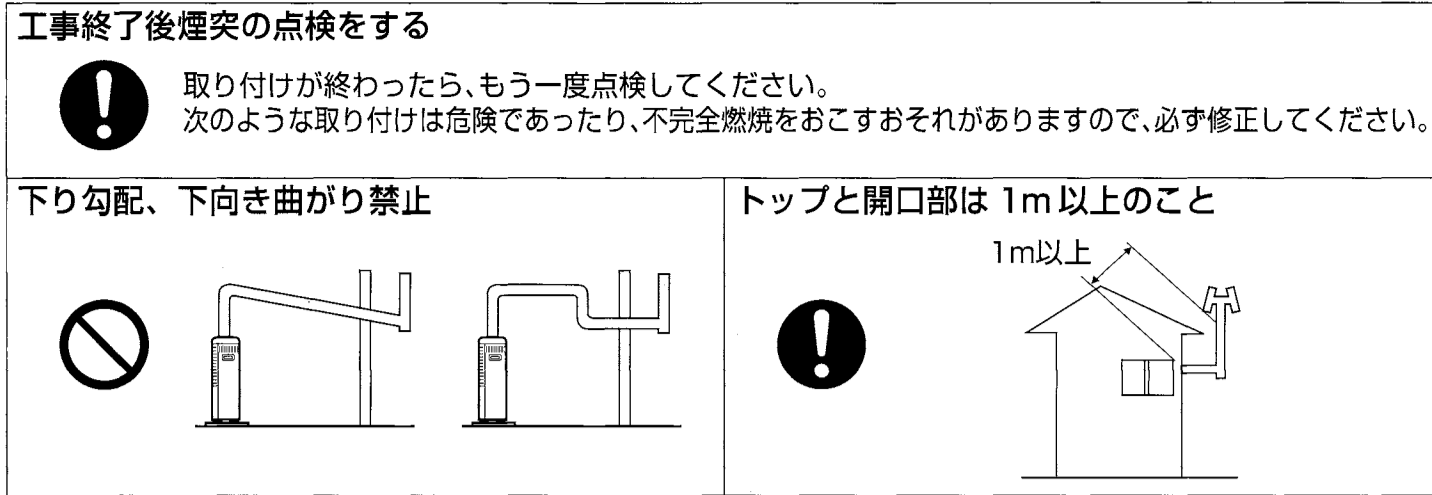
改造使用の禁止
改造して使用しないでください。またストーブや煙突には床暖房用の熱交換器などを取り付けしないでください。火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。

煙突は支え家具や支え線で固定する

煙突は1.5m~2mおきに固定金具で固定し、自重を支える部分は支えまたは、吊り金具で堅固に支持してください。

必ず試運転を行い、安全を確かめる

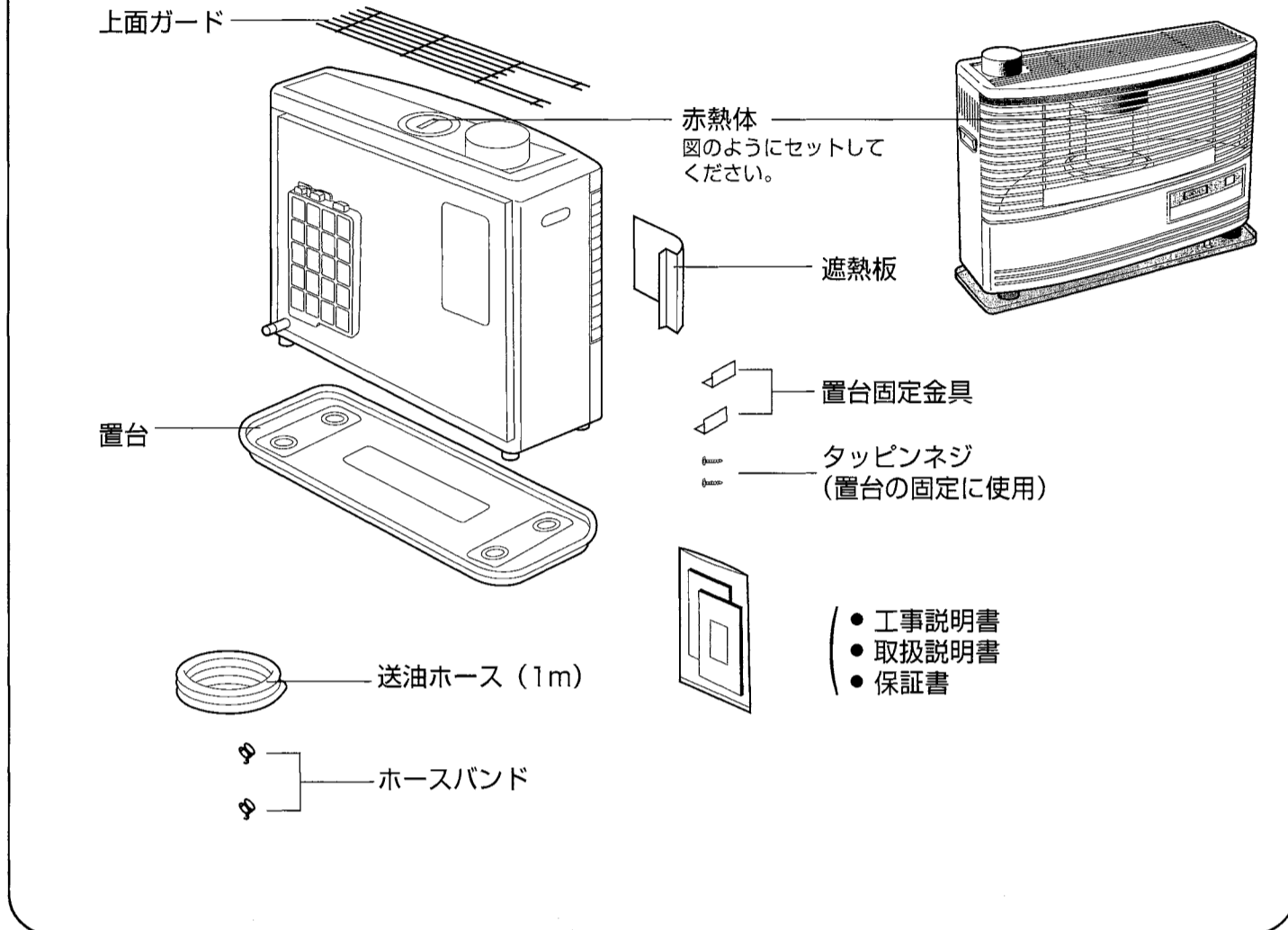
油漏れ、排気漏れ(臭気)、燃焼の異常などがないか確かめてください。お客様と立ち会って運転してください。



1. 開こん

段ボール箱からストーブを取り出し、パッキン材、テープなどを取り除き、付属品を確認してください。

1	部 品 名	数 量	用 途
1	置 台	1個	ストーブの下に敷く。
2	送油ホース(1m)	1本	油タンクからの給油に使用する。
3	ホースバンド	2個	送油ホースを固定する。
4	上 面 ガー ド	1個	天板の上に乘せる。
5	置 台 固 定 金 具	2個	置台と本体を固定する。
6	遮 熱 板	1個	壁と本体との遮熱をする。



2. 据付け

据付け場所の選定

- 性能をそこなないための空間が取れる場所
- 耐火構造であっても、可燃物との距離が取れないような設置場所(マンホールピースや凹部)への据付けはしないでください。

■電源コンセントの位置

- コンセント(交流100V 15A)を使用できる位置。(電源コードの長さは2mです)
- 歩行者が電源コードを引っ掛けられないような位置。

据付け方法

1 置台の取付けと水平設置

- 付属の置台を据付面に置き、ストーブの脚を置台の脚部に乗せてください。本体を水平で丈夫な床面に据付けてください。
- 置台固定金具をストーブの側面から、置台の引っ掛け部に差し込み、付属のねじでストーブに固定してください。固定は、両側面2か所です。取り付けないと使用できません。

2 煙突取付口の変更

- 煙突の取付口を右側に変更する場合、次のように行ってください。
1. 上面ガードを取り、煙突接続口と煙突ふたの各々の取り付けねじ(各3本)を外して交換し、再び取り付けねじをしっかりと締め付ける。
 2. 上面ガードを置く。

3 遮熱板の取り付け(保護シートをはがしてから取り付けてください)

- ストーブ側面と可燃物の距離を15cmまで近づける場合には、前面ガードに遮熱板を次のように取り付けてください。ただし、煙突側は可燃物との距離が煙突から45cmという規制から近づけることはできません。

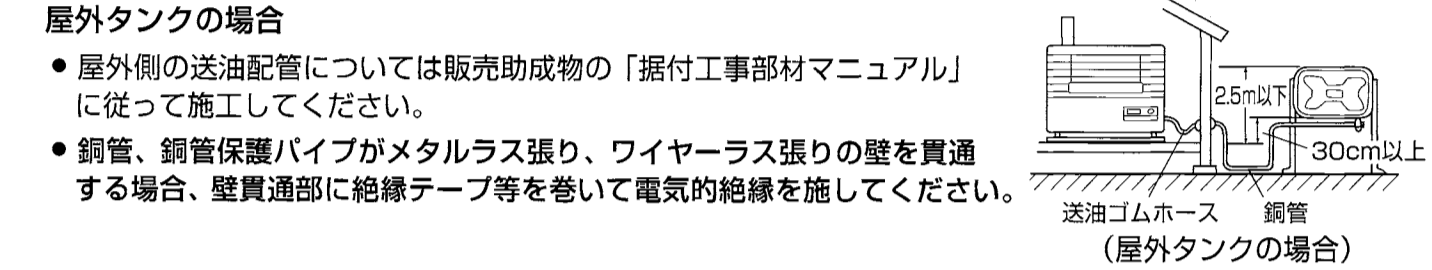
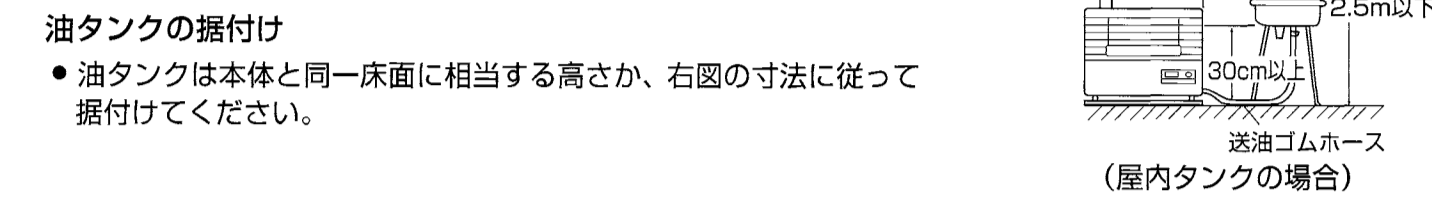
1. 遮熱板の片側を前面ガードとキャビネットのすきまに挿入し、遮熱板のつめを図のように、前面ガードの横棒に当てる。
2. つめを内側に折り曲げる。



4 油タンクの据付けと送油ホースの接続

- 油タンクの据付けについては、各地の火災予防条例に従ってください。
- 油タンクを、40℃以上の場所、直射日光のあたる場所、雨水やほこりの入りやすい場所へ据付けることは避けてください。
 - 油タンクの近くに他の燃焼器具などを置かないでください。
 - 油タンクは不燃材の上に置き、簡単に動いたり倒れたりすることのないよう据付けてください。たたみやじゅうたんの上は避けてください。
 - 送油ホースは付属の送油ホース(長さ1m)またはJIS S 3022(石油燃焼器具用送油管)に適合した送油ホースを使用してください。屋内タンクをご使用の場合、油タンクとストーブとの距離を2m以上は必ず必要があるため、別売の送油ホース(OK-B07K 長さ2.5m)をご使用ください。

- 既設の油タンクを使用する場合、油タンクのフィルター掃除や水抜きを確実に行ってください。
- 送油配管にゴミなどがあると、本体の定油面器のフィルターがつまり、送油量が減少することがあります。また、送油配管に水があると凍結し、送油が十分に行えない場合があります。新しい送油管にするか、送油配管内の掃除と水抜きを行ってから、配管してください。



送油ホースの接続

- (1)送油ホースを油タンクの接続口(屋外タンクの場合は壁付コック等の接続口)に十分差し込み、ホースバンドで固定してください。送油ホースの先端に灯油をつけると挿入しやすくなります。
- (2)油タンク側のバルブを少し開け、送油ホース先端まで灯油が確実に流れてくることを確認してください。送油ホース内に空気溜りがあると灯油が流れず点火不良の原因になります。空気抜きは油タンク側から、送油ホースを順次たぐっていくことができます。床に灯油をこぼさないように受皿等を用意し、慎重に行ってください。
- (3)送油ホースを本体の接続口の根元まで十分差し込み、ホースバンドで固定してください。
- (4)送油ホースを途中で山形になったり、もつれたりしないよう整えてください。
 - 屋内銅配管の場合は、別売のホースニップル(OK-B08K)を使用して送油ホースに切替えてから、本体に接続してください。

3. 煙突の取付け

煙突は、排ガスを屋外に排出するために重要な役割をするものです。誤った取付けは燃焼不良や、火災事故の原因となりますから、次のことからよく守って取り付けてください。

1 煙突

- 煙突、煙突トップはJIS S 2080(燃焼機器用排気筒)に適合した呼び径106mmのものをご使用ください。

2 煙突の高さ、横引きの基準

- 煙突の高さは2mで横引きのある場合は、その長さの半分を煙突の基準高さ2mに加えてください。煙突の高さ=2m+(横引き長さ×1/2)m
- 横引きの長さは2.5m以下にして2°程度の上り勾配をつけてください。
- ストーブ本体の煙突接続口に煙突をしっかり接続してください。
- 立ち上り部の接続は水抜き孔のあるT曲りをご使用ください。エルボは使用しないでください。
- 煙突と壁は固定金具で固定してください。

3 煙突先端(トップ)の位置

- 煙突トップは屋根面から垂直距離で60cm以上離してください。
- トップから水平距離で1m以内に隣接家屋などの軒がある場合はさらにそれより60cm以上離してください。

寒冷地では排ガス中の水分が結露し、凍結することがありますので、煙突の据え付けには十分配慮し、使用中も時々点検してください。特に集合煙突をご利用の場合は煙導から室内壁への漏水防止をしてください。

4 可燃物との距離

- 煙突は木材などの可燃物から次の距離をとってください。ストーブからの距離1.8m以内…45cm以上、ストーブからの距離1.8m以上…15cm以上

5 煙突の固定

- 煙突は風や振動などで倒れないよう支え金具や支え線で固定してください。
- 煙突は1.5m~2mおきに固定金具で固定し、自重を支える部分は支え又は吊り金具で堅固に支持してください。

メタルラス張り、ワイヤーラス張りの壁に固定する場合、止めねじと固定金具の間に電氣的絶縁を施してください。

6 ドラフトレギュレーター

- 風の強い地方や建物の関係から煙突を標準より高くしなければならぬ場合には器具の燃焼を安定させるため、ドラフトレギュレーターを取り付けてください。

7 集合煙突利用の際のさし込み

- 集合煙突を利用する場合には図のようなさし込みかたをしてください。
- 煙突の取付けが建築基準法、各市町村火災予防条例の規則に適合しているか調べてください。



4. 試運転

標高による調節について 標高が500m未満の場合は、この調節は不要です。

- 設置条件等により、燃焼状態が変化します。より最適な燃焼状態で使用いただくためにこの調節が必要です。
 - 電源プラグをコンセント(交流100V)に差し込んでください。
 - 次の手順にしたがって、標高の設定をしてください。
- ①運転スイッチを「切」にする。
 - ②「入タイマー」「自動/ひかえめ」ボタンを同時に7秒間押す。同時に押せば、(コロン)が点灯します。…「ピッ」とブザーが鳴る。デジタル表示部に を表示。
 - ③標高設定: ボタンを押し、 表示: 「0」… 500m未満、表示: 「5」… 500~1000m未満、表示: 「10」… 1000~1500m未満 (のいずれかの標高に設定する。(ボタンを押すことに表示が0→5→10→0…と変わります))
 - ④運転スイッチを「入」にし、再度運転スイッチを押して「切」にする。
 - 以上の操作で調節完了です。

試運転

試運転はお客さまと立ち会って行ってください。

1 運転準備

- 油タンクに給油し、油タンクや送油管接続部から油漏れがないか確認する。
- 定油面器セットレバーを2~3回押し下げる。
- コードホルダーを開き、電源コードをのぼし、電源プラグをコンセントに差し込む。●電源コードは使用時には束ねないでください。

2 運転

1. 運転スイッチを押す。
 - 運転ランプ点灯。
2. 設定温度を室内温度より高くする。ひかえめ運転の場合、室温が設定温度より3℃高いと燃焼しません。約5分後に燃焼を始めます。
 - はじめてお使いになるときは塗料の焼きつくにおいと煙が出ることがありますが、熱交換器の塗装やパッキン類が焼けるためで、異常ではありません。数10分で消えますので、換気をしながら運転してください。しばらく使用しますとなくなります。
3. 運転スイッチを再度押す。
 - 運転ランプが消え、消火します。
 - 本体内部の温度を下げるために、約7分間冷却します。